

## みなさんからの情報ボード

### ◆日本環境教育学会が山梨県で開催されます！

◆日本環境教育学会 第30回 年次大会 ～テーマ「自然と教育…初心へ」

山梨県北杜市で開催される第30回の記念大会です！多くの「環境教育」でつながる皆さまとの実践交流の機会としてご活用ください。今泉吉晴氏（動物行動学者）をお迎えしての公開シンポジウムはじめ、多数の公開企画・無料企画も予定しております。

- ・日程：2019年8月23日（金）～8月25日（日） ※部分参加も可能
  - ・会場：北杜市立甲陵高等学校（山梨県北杜市 JR中央線長坂駅より徒歩15分）
  - ・主催：一般社団法人日本環境教育学会
  - ・対象：環境教育に関心のある方、どなたでも
  - ・内容：研究発表、各種研究会、公開シンポジウム、教員ワークショップ、エクスカージョン、山梨県高校生特別研究発表会、小中学生環境教育等発表大会、小中学校教員環境教育等実践交流大会、環境教育メッセ 等
  - ・協力：北杜市教育委員会、北杜市立甲陵高等学校
  - ・後援予定：文部科学省、環境省、山梨県教育委員会、韮崎市教育委員会、山梨県、北杜市、ESD活動支援センター
- お問合せ：  
一般社団法人日本環境教育学会第30回年次大会（山梨）実行委員会事務局 E-mail yamanashi2019@jsfee.jp

### ◆令和元年度「緑のカーテン取組情報」を募集します！

山梨県では、県内の家庭や事業所等から緑のカーテンの取組情報を募集します。お寄せ頂いた中から特に優れた事例について「優秀作品」として広く紹介し記念品を贈呈。また応募の中から抽選で20名に粗品をプレゼント。皆さんが育てた自慢の緑のカーテン情報を是非お寄せください。また、山梨県は平成27年から本県の特産物である「ぶどう」を使った緑のカーテン作りを始めています。ぜひこの機会に取り組んでみませんか。

- ・応募資格／山梨県内の一般家庭・事業所・学校にて令和元年度に緑のカーテンを設置した個人又は団体
- ・応募部門／①個人部門 ②団体部門
- ・応募期間／令和元年8月1日（木）～9月30日（月）まで
- ・応募方法／ホームページから応募様式をダウンロードして記入し、緑のカーテンの写真を

添付のうえ、持参、郵送又はメールによりエネルギー政策課に提出。詳細は募集要項をご覧ください

●応募 山梨県エネルギー局エネルギー政策課 省エネ・温暖化対策

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 電話：055-223-1506 メール：[energy-seisaku@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:energy-seisaku@pref.yamanashi.lg.jp)

### ◆KEEP×SDG'S 夏休み展示のご案内

SDGsとは「Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標」の略で、2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない＝leave no one behind」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル＝普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

そのSDGsの視点で、公益財団法人キープ協会の取組を見直し、整理し、私達が果たせる役割について考える、そんな展示を、夏休みの山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターにて行う予定です。クールシェアスポットでもある清里高原に、是非お越し下さい。

●企画製作・お問合せ 山梨県地球温暖化防止推進活動センター

◆発行／山梨県地球温暖化防止推進活動センター <http://www.KEEP.or.jp/yccca/>  
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 やまねミュージアム内  
TEL:0551-48-8011 FAX:0551-48-3577 mail:eco@keep.or.jp



つうしん15号

### ◆幼児を対象にした環境教育の重要性と可能性について

山梨県地球温暖化防止推進活動センター長 増田直広



山梨県地球温暖化防止推進活動センターを担当している公益財団法人キープ協会は、1980年代から環境教育としての自然体験を提供してきました。その対象はお子さんから大人の方まで多様です。その自然体験の分野で現在最も訴求力のあるものの1つが幼児を対象にした活動です。「森のようちえん」と称される幼児対象の自然体験活動は全国各地で展開されており、関係者の集う「森のようちえん全国交流フォーラム」は大きな集客力を見せています（2019年度は11月2日～4日に岐阜県で開催）。

幼児を対象にした自然体験活動は以下の2つの側面で行われていると考えられます。1つめは、幼児の育ちや成長のために保育や幼児教育に活かしていくというものです。直接体験を通して、子どもの自己肯定感や生きる力を育もうとする活動です。2つめは、持続可能な社会の担い手を育てていく環境教育としての側面で、「幼児期の環境教育は、幼児の生活全体で子どもの主体的な遊びを重視しながら、持続可能な社会形成につながる環境観を育てること」（井上 2012年）と考えられています。どちらが大事ということではないのですが、環境教育に取組まれる推進員の皆さんや山梨県センターとしては、後者の視点を忘れてはいけないと思います。



キープ協会では、以前から幼児を対象にした自然体験活動を行っています。清里聖ヨハネ保育園では日常保育の中で子ども達が森で過ごしていますし、清泉寮自然学校では2000年代前半からイベント型の森のようちえんを数多く開催してきています。県センターを担当する環境教育事業部でも、2012年度から北杜市と協働して幼児環境教育事業に取り組んでいます。これは市内の公立・私立保育園にレンジャー（環境教育指導者）が出向き、環境教育プログラムなどを行うもので、自然とエネルギーのつながりを学ぶエネルギー環境教育プログラムにもチャレンジしてきました。

山梨県内でも、幼児を対象にした自然体験活動に取り組む保育園や幼稚園、森のようちえんなどは多く、ネットワーク作りや勉強会などが行われています。私が開始当初から関わるものに「山梨県幼児のための自然体験活動研究フォーラム」があります。これは都留市内の保育園や幼稚園、都留文科大学、都留市とフォーラム実行委員会とで開催し、今年度が3回目の開催となります（2019年7月20日に都留文科大学）。

日本に目を向けてみると、森のようちえんの盛り上がりは前述の通りです。一般社団法人日本環境教育学会では、2013年からの3ヶ年で「幼児期における環境教育」というプロジェクト研究を行いました。幼児の環境教育に関わる研究者や実践者が集い、同分野の実践向上を目指して研究会を開催し、成果物として「幼児期における環境教育のためのチェックリスト」を作成しました。本研究会は私が事務局を務めていたこともあり、ご希望の方は県センターまでメールでご連絡いただければお送りします。

推進員の皆さんにも、幼児の自然体験活動や環境教育に取り組まれる方もいらっしゃると思います。機会がありましたら、ぜひその取組の様子をお聞かせください。

最後に幼児の自然体験活動や環境教育に携わる方にとって、必携書と言えるレイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」の一節を紹介して本稿を閉じます。「妖精の力にたよらないで、生まれつきそなわっている子どもの『センス・オブ・ワンダー』をいつも新鮮にたもちつづけるためには、わたしたちが住んでいる世界のよここび、感激、神秘などを子どもといっしょに再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、すくなくともひとり、そばにいる必要があります。」



◎参考文献

井上美智子「幼児期からの環境教育」（2012年、昭和堂）

レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」（1996年、新潮社、訳：上遠恵子）

## ◆人と環境すっきりしようわ が環境省認定の協議会になりました！

これまでも推進員として昭和町を基点に活発な温暖化防止活動を展開されてきた、「人と環境すっきりしようわ」の皆さま。今年度から、環境省が認可した地球温暖化対策地域協議会として登録されました。これで山梨県には9つの協議会が発足となりました。杉浦会長にお話を伺ったところ「環境教育を行うにあたって、固くてまじめにやるのではなく、楽しいテーマに絡めて実践し、市民に興味をもってもらいたい。音楽と環境のコラボレーションの企画もその思いでやっている。市民の心に響くような事業を、そして市民が自ら考えて自主的に温暖化対策を実践できるような事業を展開していきたい」とのことでした。



- 名称／人と環境すっきりしようわ(設立／平成19年8月)
- 会長／杉浦 彊さん ●構成員／17名
- 目的／昭和町において環境教育、環境保全、農地保全を主軸とした地球温暖化防止に向けた積極的活動の推進

### ●主な活動内容

- (1)環境講演会の開催 (2)緑のカーテン推進に伴う環境教育の推進
  - (3)山梨県産山田錦栽培に伴う環境教育の推進 (4)第2上河東保育園児への環境教育
  - (5)昭和町主催イベントでのマイバッグ・マイ箸運動の推進 (6)昭和町主催イベントでの環境パネル展示・環境クイズ・環境アンケートの実施
  - (7)河川清掃・ゴミ拾い等環境保全・美化活動
  - (8)年間を通じたエコキャップ収集活動 (9)年間を通じた廃食油回収活動
  - (10)県内地域協議会交流会への参加 (11)その他、地球温暖化防止活動推進に関する事業
- 事務局連絡先 〒409-3880 山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2 電話:055-275-8748

## ◆山梨県・温暖化対策担当の森田さんをご紹介します！

今年4月からエネルギー政策課へ異動となりました森田と申します。平成25年度～27年度まで森林環境総務課におりました。推進員の皆様にはその節もお世話になり、ありがとうございました。その当時育て始めた緑のカーテンのぶどうの木も元気に育ち、かなり立派になりました。しかし実がならず、娘に「いつになったら食べられるの?」と言われ続けています。趣味は音楽鑑賞とチェロの演奏です。どうぞよろしくお願いいたします。さて、今回は、7月からスタートします「やまなしクールチョイス県民運動」について、ご案内をさせていただきます。「やまなしクールチョイス県民運動」とは、「地球温暖化対策のために、今できる【賢い選択を!】」をキャッチフレーズとして、これまで推進してきました「エコライフ県民運動」と「やまなし省エネ県民運動」の2つの県民運動を統合・拡充し、新たに展開していく県民運動です。日常生活の中で身近な取組みをチョイス・アクションして頂くには

- ・環境家計簿をつけて賢く省エネして家計も節約
- ・クールシェア・ウォームシェアで家庭で使用するエネルギー量を削減
- ・エコドライブで二酸化炭素排出量を削減して安全運転
- ・ぶどうやゴーヤで緑のカーテンを作り夏を涼しく過ごす
- ・省エネ家電に買い替えて、エネルギーも電気料も削減 等です。

県では、このような「やまなしクールチョイス県民運動」に率先して取り組むとともに、さらに周りの方々にも広めていただく個人・団体を「やまなしクールチョイスサポーター」として募集しています。推進員の皆様には、「やまなしクールチョイスサポーター」として「やまなしクールチョイス県民運動」を広めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



山梨県エネルギー局エネルギー政策課  
省エネ・温暖化対策担当課長補佐  
森田 智子 さん

## ◆第9期山梨県地球温暖化防止推進員募集

2年ごとに任期を設定している山梨県地球温暖化防止推進員の活動、今年度は継続と更新の年になります。既に推進員活動をしてくださっている皆様には是非、継続をお願いしたいと共に、新たに加わって山梨県内の活動を盛り上げてくださる方も募集しています。皆さまのお知り合いで活動に興味のありそうな方がいらっしゃいましたら是非、お声がけいただければと思います。推進員委嘱式の開催については、山梨県より、詳細のご案内が届くと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



### ●お問合せ

山梨県エネルギー局エネルギー政策課 省エネ・温暖化対策 電話:055-223-1506

## ◆関東ブロック推進員等合同研修会の参加者募集

関東ブロック各地域の地球温暖化防止活動推進員及び地域地球温暖化防止活動推進センターの活動について情報共有とスキルアップを図ることを目的に、今年も開催いたします。

- ・日時／2019年9月4日(水)13:00～5日(木)12:00 ★現地集合・解散
- ・会場／群馬県 みなかみ町カルチャーセンター(宿泊:辰巳館)
- ・参加者／70名 関東地域の地球温暖化防止活動推進員とセンター職員(各センター1～3名程)
- ・テーマ／推進員活動が広げる～COOLCHOICE
- ・内容／各センターの取組みの紹介、ブース展示、交流、以下のワークショップ

### ■テーマ1:私たちの生活から出るカーボン・フットプリント「(二酸化)炭素の足跡」

◎ゲスト:小出 瑠様(IGES 公財)地球環境戦略研究機関)

IGESでのフィンランド、中国、ブラジル、インドとの協働研究から一人1年当りのカーボン・フットプリントから温暖化防止のアプローチを考えます。

### ■テーマ2:SDGs(持続可能な開発目標)と気候変動のつながりを理解して活動に活かそう!

◎ゲスト:島田 幸子様(環境パートナーシップオフィス/関東EPO)

国連が定めたSDGsは地球温暖化対策パリ協定と両輪になり世界を大きく変える道標となっています。SDGsの概要を学びワークショップを通して活動に活かす方法を考えます。

- ・参加費／交通費と宿泊費はセンターが負担。食費のみ参加者負担  
詳細の金額については、お問合せください

●お問合せ・お申込 山梨県地球温暖化防止推進活動センター



## ◆エコ×エネ子どもキャンプ2019 今年もやります！

『かんじて、あそんで、そうぞうする～心に響く体験からエコロジー×エネルギーを学ぶ』をテーマに今年も山梨県内の子どもを対象にキャンプを開催します。気候変動、温暖化などが世界中で叫ばれ、身近な山梨でも夏の酷暑を感じています。山梨県地球温暖化防止推進活動センターでは、そういった大きな課題について自らが考えて行動できる子ども達を育てるために、まずは自然の中での原体験の重要性を強く感じています。そこで、太陽エネルギーをはじめとした自然界のエネルギー循環やその中で育つ豊かな生物・生命にふれるエコロジーの理解を目的としたキャンプを開催します。

★7月上旬、現在、お申込多数ありキャンセル待ちです

●お問合せ 山梨県地球温暖化防止推進活動センター

